

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2000-325583(P2000-325583A)

【公開日】平成12年11月28日(2000.11.28)

【出願番号】特願平11-136670

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の図柄を変動表示しうる表示装置と、

遊技盤に設けられた作動口とを備え、

前記作動口に遊技球が入球することに基づき、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させるか否かを判定し、前記図柄表示装置において、図柄を変動表示させその後停止表示させ、前記判定に際し特別遊技状態を発生させる旨が判定された場合には、前記図柄を、複数種類の当たり図柄のうち特定の当たり図柄で停止表示させた上で前記特別遊技状態を発生可能な遊技機であって、

少なくとも前記図柄が特定の当たり図柄にて最終的に停止表示される前段階において、前記表示装置にて所定のリーチ図柄を表示した上で複数種類あるうちの所定のリーチ変動態様で図柄を変動表示しうる手段と、

前記図柄を、当たり図柄で一旦停止表示させた後、再度の変動表示を行い、その後、特定の当たり図柄で最終停止表示しうる手段と、

前記リーチ変動態様の種類によって、前記再度の変動表示が行われる場合の変動態様を異ならせる手段とを備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記リーチ変動態様の種類と、前記再度の変動表示が行われる場合の変動態様とが対応していることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記表示装置では、複数の図柄列において図柄が変動表示され、

前記所定のリーチ変動態様で変動表示される図柄列が1つであるのに対し、前記再度の変動表示が行われる場合の変動態様で変動表示される図柄列は全図柄列であることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。